

令和7年4月1日発行

2月定例会報告

発行元

埼玉県議会
自由民主党議員団

〒349-0123
蓮田市本町3-12(蓮田駅西口)
TEL 048-720-8756
FAX 048-731-8439



埼玉県議会議員 県政報告

vol.5

森いくま通信

県議会2月定例会 前年度比5.2%増の過去最大予算で歴史的課題へ挑戦!

令和7年度
一般会計予算 **2兆2,308億9千万円の予算を議決**



▲イネカメムシ被害について稲作農家の皆様からヒアリング

県議会2月定例会が2月19日に開会し、前年度比5.2%増となる令和7年度一般会計当初予算案(2兆2,308億9千万円)をはじめ、令和6年度2月補正予算案を議決し、3月27日に閉会しました。

1月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故を受けて、自民党県議団では事故発生翌日の1月29日に大山忍八潮市長とともに、緊急要望書を大野知事あてに提出。これを受け、事故の復旧工事に係る令和6年度流域下水道補正予算(40億円)が提案され議決。また、国より45億円の予算措置が急遽決定され、それを受けて県では50億円(総額90億円)の追加補正予算案が提案され、議決しました。今後、国の支援を受けつつ抜本解決に向けて早急に取り組むよう、引き続き執行部に要請してまいります。下水道使用の自粛期間には蓮田市民の皆様には節水のご協力を頂き、大変有り難うございました。

1月28日 八潮市内で発生した **道路陥没事故の状況** R7.3.11現在

排水ポンプによる陥没部の迂回対策の強化



令和7年度

蓮田市の主な県事業 (インフラ整備)

蓮田市内の県事業について、今年度も11事業+河川2事業、さらに上平野地区農業集落排水事業(機能強化)を確保することが出来ました!



県土整備部

令和7年度当初予算

路線名等	事業概要
①蓮田鴻巣線 (東)	自転車歩行者道整備事業費 (L=195m、W=7.0 (12.0) m)
②蓮田鴻巣線 (東)	交通安全施設整備事業費 (L=195m、W=7.0 (12.0) m)
③蓮田白岡久喜線	道路改築事業費 (L=800m、W=6.0 (12.75) m)
④行田蓮田線	社会資本整備総合交付金(改築)事業費 (L=1,960m、W=6.5 (15.0) m)
⑤蓮田杉戸線 (黒浜 BP)	社会資本整備総合交付金(改築)事業費 (L=500m、W=6.0 (14.0) m)
⑥行田蓮田線	舗装道整備費 (舗装修繕 W=6.89m、L=300m)
⑦上尾久喜線	舗装道整備費 (舗装修繕 W=5.4m、L=300m)
⑧さいたま栗橋線	舗装道整備費 (舗装修繕 W=6.89m、L=200m)
⑨さいたま栗橋線 (柳橋)	橋りょう修繕費 (ひび割れ補修)
⑩さいたま栗橋線 (新今宮橋)	橋りょう補修事業費 (塗装塗替え)
⑪上尾久喜線 (新川橋)	橋りょう補修事業費 (断面修復)

令和6年度2月分補正予算 (国の補正対応分)

路線名等	事業概要
①蓮田白岡久喜線	道路改築事業費 (L=800m、W=6.0 (12.75) m)

全国で 2,866 事例

蓮田市の街づくりの大きな課題解決に向けて

<市街化調整区域>
蓮田市は全面積(27.28km²)に対して、市街化調整区域(市街化が抑制されている区域)が20.68km²と75.8%も占めています。これは近隣他市に比べても大きく(桶川市67.4%、北本市63.6%、伊奈町61.5%)、また、担い手不足等により耕作放棄地も増えている中で、この市街化調整区域をいかに活用していくかが、蓮田市の街づくりのカギであると思っています。許可権者である埼玉県に繋げて、下記法律の積極的な活用にチャレンジしてまいります。

地域未来投資促進法

2017年7月施行
都市計画法の特例の拡充

今までの都市計画法の開発許可制度
市街化調整区域は開発抑制 → 下記対象施設の開発許可して差し支えない!

<p>事例① 長野市 11.3ha 産業用地 開発</p>	<p>事例② 坂城町 3.7ha 官民連携 産業用地 開発</p>	<p>□流通の結節点 高速道路、鉄道駅等の近傍に立地する施設・工場</p> <p>□原料調達地又は密接な関係のある施設 医薬品、食料の原料、農林水産物の生産地の近傍施設</p> <p>□高速道路ICの近傍 次世代モビリティに対応した物流施設</p> <p>□産業立地に必要な区域 高速道路IC、幹線道路近傍施設</p>
---	---	---

令和7年度(一部抜粋)

注目の新規事業



本会議場

移転又は建替えが検討される県庁舎

県議会棟

1. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現

■ 渋沢MIXにおけるイノベーションの創出

予算額 **3億9,537万円**



埼玉発！令和7年夏、さいたま新都心に開設(予定)
 【施設】イベントスペース、ラウンジ、個別ブース、情報掲示スペースなど

■ サーキュラーエコノミーの推進

予算額 **7億237万円**



新 リチウムイオン電池の回収・資源化モデルの構築
新 広域連携による衣料品のサーキュラーエコノミーの推進 **新** 推進センター埼玉のマッチング強化

■ 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進

予算額 **15億8,470万円**



プロジェクトに取り組む市町村 56 団体！
新 市町村への専門家派遣による地域まちづくり計画の策定支援

■ 人手不足への対応

予算額 **7億6,916万円**



新 専門家派遣の実施 **新** 省力化投資に対する補助
新 女性活躍のための環境整備

3. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

■ DX・TXによる行政の更なる生産性向上

予算額 **1億2,727万円**

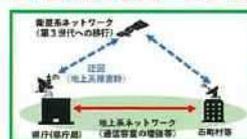


新 TX2.0 タスク・トランスフォーメーションの強化
 《特定のタスクを効率化する新ツールをモデル導入》
新 県立高校でのデジタル採点の導入

4. 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

■ 自然災害への備え

予算額 **394億5,146万円**



新 衛星通信機器の導入 (27 基導入)
拡 流域治水対策の推進 (中川・綾瀬川緊急治水プロジェクト) **新** 総合指揮支援システム

5. 県民の暮らしの安心確保

■ 警察活動の強化

予算額 **4億899万円**



新 警察官の増員 《全国最多 175 人増員》
新 ウェブ上における情報収集力の強化、他

2. 「こどもまんなか社会」の実現

■ こどもの声を聴く「埼玉県こども会議」

予算額 **445万円**



新 小学生～高校生が県政に対して意見を表明する「こども会議」を設置・運営。

■ 朝のこどもの居場所づくり

予算額 **557万円**

新 「朝の小1の壁」を解消するため、「朝のこどもの居場所づくり」に取り組む市町村への支援

■ 保育士の確保・定着

予算額 **1億6,509万円**



拡 新卒保育士へ就職準備金 30 万円の貸付(県内保育所で3年勤務すると返還免除)
新 保育士の復帰・復職サポート《未就学児を持つ保育士が復帰する場合、保育料の半額(上限 27,000 円)の無償期間を3歳まで延長》

■ メタバース空間を活用した不登校児童生徒支援

予算額 **4,272万円**

新 新たな居場所・学びの場を設置《一人ひとりの状況に合わせた学びの提供(講義形式・個別学習支援)、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーによる専門的相談、オンラインによる日常の交流》

■ 特別支援学校の整備

予算額 **14億4,969万円**



新 八潮高校跡地を利用した県東部特別支援学校設置
新 ふじみ野市立東台小学校跡地を利用した県西南部特別支援学校を設置 **新** 県立和光南特別支援学校の校舎全面改築、県立川口特別支援学校の校舎の増築および備品の整備

6. 介護・医療体制の充実

■ 人材の確保

予算額 **7億8,730万円**

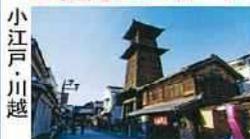


■ 医師の働き方改革の推進と偏在是正
新 長時間労働医療機関へ医師派遣を行う医療機関に対して補助を実施

7. 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

■ 観光プロモーション・インバウンド誘致の推進

予算額 **2億781万円**



新 日本酒やアウトドアスポーツなど、本県の強みとなるコンテンツの発信による観光周遊促進 **新** 特定層にターゲットを絞った PR

8. 豊かな自然と共生する社会の実現

■ 第75回全国植樹祭の開催

予算額 **10億1,615万円**



令和7年5月25日(日)秩父ミュージックパークにて開催！
新 当日の式典運営・式典会場の原状復旧等、森林資源の活用、木材利用拡大を図る「活樹」発信

9. 儲かる農林業の推進

■ 水稻のカメムシ類・高温被害への対策

予算額 **3,086万円**



新 イネカメムシ対策として広域防除を推進(広域防除に取り組む団体等の支援等)
新 高温耐性新品種『えみほころ』の早期導入

2025年1月～3月

活動報告

上記期間内の活動のうち主なものをご報告します



本会議の採決風景



大野知事の答弁

1/10 蓮田市商工会新春賀詞交歓会



1/18 蓮田市消防出初式



1/20 公明党埼玉県本部新春賀詞交歓会



2/9 蓮田市防災フェア



2/15 蓮田ライオンズクラブ 50周年式典



3月 各議員連盟・PT研修会



- ◆ 私が所属する議員連盟一覧(27 議連)**
- 日米友好議員連盟
 - 日台友好議員連盟
 - 日独友好議員連盟
 - 日中友好議員連盟
 - 日韓友好議員連盟
 - 中南米友好議員連盟
 - ASEAN 友好議員連盟
 - 日豪友好議員連盟
 - 日本・パラオ友好議員連盟
 - 地下鉄7号線推進議員連盟
 - 圏央道推進議員連盟
 - 首都高速線延伸促進議員連盟
 - 農業・林業振興議員連盟
 - 観光産業政策推進議員連盟
 - 中小企業・小規模企業を支援する議員連盟
 - 防衛議員連盟
 - 社会福祉推進議員連盟
 - ボーイスカウト・ガールスカウト振興議員連盟
 - 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を図る埼玉県議会議員連盟
 - 防犯のまちづくり推進議員連盟
 - 動物と共生する社会を推進する議員連盟
 - 県庁舎建て替え検討促進議員連盟
 - 英霊にこたえる議員連盟
 - オリンピック・パラリンピック応援議員連盟
 - マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟
 - 埼玉西武ライオンズ応援議員連盟
 - RB 大宮アルディージャ応援議員連盟

議員連盟とは？

各議員が任意かつ実費で所属。特定の目的を達成するために、研修会や勉強会等を活発に行い、研鑽を重ねている。

編集後記



埼玉県議会議員

森 伊久磨

県政報告第5号を作成しました。令和7年度予算における新規事業や蓮田市内の県事業など、盛りだくさんの内容になりました。県政は市政と違い、市民の皆様にとって身近ではなく、「何をしているか分からない」と言われることがあります。皆様に県政を少しでも多く知って頂こうと自らパソコンを駆使して制作していますが、欲張る余り内容が細かいすぎずぎてしまいます。保存版として、お時間があるときに目を通して頂ければ幸いです。



文教委員会での質疑風景

県政へのご意見・ご要望をお寄せください

森伊久磨政務活動事務所

〒349-0123 蓮田市本町 3-12
電話 048-720-8756 FAX 048-731-8439

蓮田駅西口
徒歩3分

profile

- 昭和46年 蓮田市間戸生まれ、蓮田市育ち
- 大山幼稚園、蓮田北小学校、蓮田中学校、栄東高校、慶應義塾大学商学部(学生結婚により中途退学、在籍3年)
- 蓮田市議会議員2期、2023年3度目の挑戦で埼玉県議会議員当選
- 蓮田市野球連盟顧問、蓮田ロータリークラブ会員、蓮田市商工会会員、蓮田市倫理法人会会員、保険代理店社員、ファイナンシャルプランナー
- 家族/看護師の妻と子供2人 趣味/野球、ソフトボール、ゴルフ、筋トレ、読書



2024年〈令和6年〉

県議会レポート

NEW LEADER

埼玉の新しい力。



埼玉県議会議員

横川まさや



発行 横川まさや事務所 埼玉県東松山市箭弓町2-12-13 / TEL. 0493-77-5050 / FAX. 0493-77-1000
埼玉県議会自由民主党議員団 E-mail: masaya@yokokawa.me HP: 横川まさや.jp で検索

令和6年度所属委員会 県土都市整備委員会 / 地方創生・行財政改革特別委員会(副委員長)

皆さま、こんにちは。横川雅也です。

皆さまに県議会へと送り出していただき、10年目を迎えます。この間、皆さまと県政をつなぐ役割を果たすべく政策立案や地域課題の解消、ご要望の実現に向け精一杯取り組んでまいりました。

令和6年度2月定例会においては、予算特別委員会にて質疑を行い各分野の予算案について質しました。この度の県議会レポートでは、予算委員会での質疑内容ならびに各種事業の進捗状況、議会活動や地元での活動等をまとめましたので皆さまにご報告いたします。

地元、そして郷土埼玉を明るく元気な希望と発展可能性に満ち溢れたまちへと誘うことが私の使命と感じています。これからも常に新たな挑戦を続けながら政策実現に向けてあらゆる課題と向き合い、皆さまと手を携えながら挑戦を続けていく所存です。



2月定例会では予算特別委員会において部局別質問に立ち、令和6年度予算(施策)について質疑を行いました。

埼玉県議会議員 横川雅也

予算特別委員会における主な質疑内容について

県議会2月定例会では、3月11日から15日の5日間に渡り、令和6年度予算に関する審査のため予算特別委員会が開かれ、各部局別質疑を行いました。私は以下の件について、様々な角度から質疑を行いました。

【福祉部関係】

- ・こどもまんなか社会の実現のための子ども施策への子ども等の意見の反映について
- ・こどもの居場所づくりの支援について
- ・障害者就労支援施設への支援について

【産業労働部関係】

- ・渋沢栄一起業家サロン(仮称)の整備について
- ・インバウンド誘致の推進について

【県土整備部・下水道局関係】

- ・埼玉版流域治水対策(河道や調節池整備)の推進について
- ・中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトについて

- ・下水道施設の保全と災害対策の強化について

【教育委員会関係】

- ・県立学校の空調整備(体育館・武道場)の推進について
- ・魅力ある県立高校づくりについて
- ・専門人材育成のための専門科の設置推進

【危機管理防災部関係】

- ・災害対策本部の機能強化について
- ・災害対応力の強化について

【警察本部・公安委員会関係】

- ・交通安全施設(道路標識・標示)の整備について
- ・犯罪被害者支援の充実について



令和6年度の主な新規・拡充施策(抜粋)

1. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

9億1,168万円
拡行政サービスデジタルトランスフォーメーションの推進、学校教育のデジタル化の推進、県内企業デジタルトランスフォーメーションの推進、等

2. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現

26億4,889万円
介護基盤整備促進事業、新たな子供支援活動拠点の整備促進、地域商業活性化支援、地域商業活性化支援、既存住宅流通促進、等

3. あんしんしあわせ たいのしい こども支援の充実

45億7,931万円
子育て世帯の医療費負担の軽減、放課後児童クラブの充実、潜在保育士活躍応援、男性の育休取得推進、児童虐待防止対策の強化、等

4. 災害対応力の底上げと自然災害・新たな感染症への備え

131億8,982万円
災害対応力強化推進(埼玉版FEMA)、埼玉版流域治水対策の推進、安全・安心を確保するための道路の維持管理・道路情報強化、新たな感染症への備え・新興感染症対策、他

流域治水対策の進捗状況

近年、激甚化・頻発化している洪水災害に対応するため、国や流域自治体、企業・住民等、あらゆる関係者が協働して治水対策事業が急ピッチで進んでいます。

一級河川都幾川 《改良復旧事業》

一級河川都幾川は改良復旧事業として、災害を受けていない箇所を含む一連区間における川幅の拡幅、堤防のかさ上げ等、施設機能の強化が進んでいます。



2019年台風19号による都幾川の被災時の様子



一級河川市野川 《治水事業》

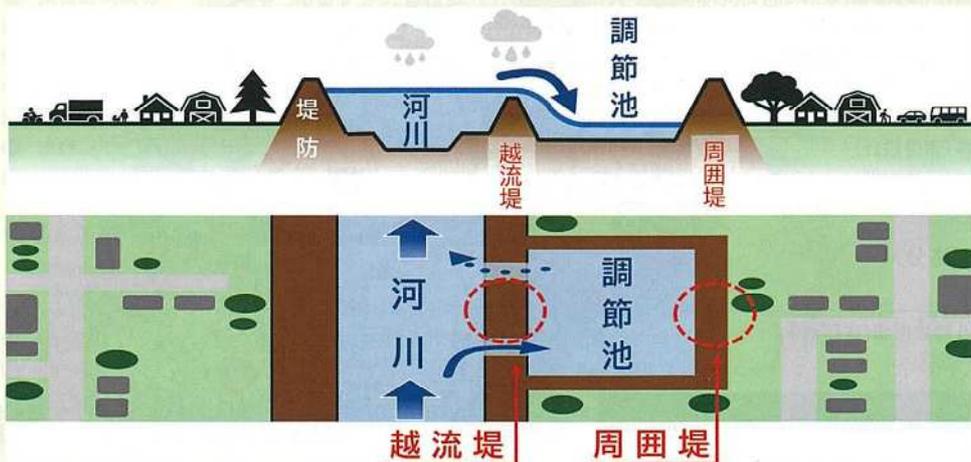
一級河川市野川は「特定都市河川」に指定され、治水安全度の向上がスピード感をもって進んでいます。



合流点の負荷軽減対策（調節池整備事業）

①排水機場の整備

市野川・越辺川の河川水位が高くなり、新江川・九十九川からの雨水を市野川・越辺川へ自然に排水できないとき、ポンプにより強制的に排水します。



②調節池の整備

洪水時に河川の流量を減らして水位を下げるため、河川の水を一時的に池等に貯めて調節し、河川の水位が下がってきてから、貯めていた洪水を安全に流します。

一級河川新江川

～市野川との合流点処理について～



一級河川九十九川

～越辺川との合流点処理について～



令和6年度の主な県事業（インフラ整備）

川島町

令和6年度当初予算において予算を確保することができました、川島町の主な県事業（インフラ整備）をご報告します。

県土整備部

令和6年度当初予算

路線名等	事業概要
① 船原橋(鴻巣川島線)	橋りょう架換(L=4.3m、W=6.0(8.5)m)
② 平沼中老袋線(曲師)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.4m、L=200m)
③ 平沼中老袋線(出丸中郷)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.5m、L=350m)
④ 釘無橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕(塗替え塗装)
⑤ 中井川3号橋(国道254号)	橋りょう修繕(ひび割れ補修)
⑥ 中山一号函渠橋(国道254号)	橋りょう修繕(補修設計)
⑦ 安藤橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕(橋脚補強)
⑧ 安藤川	河川改修(測量設計)
⑨ 横塚川	河川改修(河道掘削)
⑩ 市野川	河川改修(河川管理施設修繕)

令和5年度2月補正予算(国の補正対応分)

路線名等	事業概要
⑪ 釘無橋(川越栗橋線)	橋りょう補修事業(床版補修)



農業基盤整備事業(農林部)

令和6年度当初予算

事業名	箇所名	事業概要
A かんがい排水事業(長寿命化対策)	川島用水(長楽)	電気設備更新1式

下水道局

令和6年度当初予算

路線名等	事業概要
新河岸川北幹線	新河岸川北幹線管渠耐震診断業務委託
新河岸川北幹線	新河岸川北幹線二条化実施設計業務委託

《川島用水地区》

A かんがい排水事業(長寿命化対策)

地域の営農を支える重要なインフラ施設ですが、電気設備やポンプ施設が老朽化していることから、計画的に保全対策を実施し施設の長寿命化を図ることを目的としています。

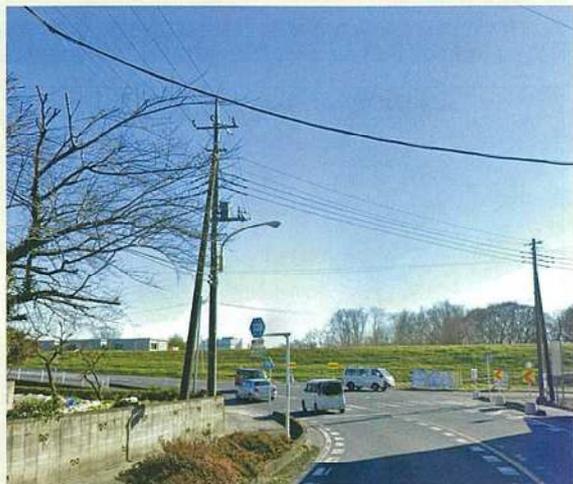


【事業概要】

- 受益面積 865.0ha
- 事業期間 令和5年度～令和11年度(予定)
- 総事業費 23億5,300万円
- 負担区分 国50%、県25%、市町15%、改良区10%
- 対象施設 揚水機場4か所(長楽揚水機場、白井沼揚水機場、梅ノ木古凍揚水機場、中山揚水機場)、幹線管水路(主要弁類)



① 船原橋



③ 平沼中老袋線(出丸中郷/入間川堤防を望む)

令和6年度の主な県事業（インフラ整備）

吉見町

令和6年度当初予算において予算を確保することができました、吉見町の主な県事業（インフラ整備）をご報告します。

県土整備部

令和6年度当初予算

路線名等	事業概要
① 小八林久保田下青鳥線(下細谷)	交通安全施設整備事業(L=200m、W=6.3(11.0)m)
② 鴻巣川鳥線(万光寺)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=180m、W=9.0(16.0)m)
③ 東松山鴻巣線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=3,400m、W=13.0(23.5)m)
④ 東松山鴻巣線	道路改築(L=3,400m、W=13.0(23.5)m)
⑤ さいたま武蔵丘陵森林公園自転車道線(飯島新田)	舗装道整備(舗装修繕、W=2m、L=1,000m)
⑥ 東松山鴻巣線(東野四丁目)	舗装道整備(舗装修繕、W=3.5m、L=400m)
⑦ 徒歩橋側道橋(鴻巣川鳥線)	橋りょう修繕(補修設計)
⑧ 市野川	河川改修(築堤工)
⑨ 新江川	河川改修事業(測量設計)

令和5年度2月補正予算(国の補正対応分)

路線名等	事業概要
⑩ 東松山鴻巣線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=3,400m、W=13.0(23.5)m)
⑪ 新江川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(用地買収)
⑫ 市野川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(築堤工、護岸工)

都市整備部

令和6年度当初予算

路線名等	事業概要
A 吉見総合運動公園	公園等施設整備(パークゴルフ場アクセス道路舗装改修)
B 吉見総合運動公園	公園等施設管理(野球場内野修繕)

農業基盤整備事業(農林部)

令和6年度当初予算

事業名	箇所名	事業概要
A ほ場整備事業(経営体育成型:機構関連)	大串裏田(大串ほか)	測量設計1式
B 農地防災事業(ため池等整備)	大沼(大)(南吉見)	付帯工1式
C 団体営基盤整備促進事業(長寿命化対策)	東第二(久保田新田)	用排水路改修、L=330m
D 彩の国ゆたかなむらづくり整備事業	田甲(田甲ほか)	処理施設1式、実施施設1式

令和5年度2月補正予算

事業名	箇所名	事業概要
E ほ場整備事業(経営体育成型:機構関連)	大串裏田(大串ほか)	区画整理8.8ha
F 農地防災事業(ため池等整備)	大沼(大)(南吉見)	堤体改良工1式

下水道局

令和6年度当初予算

路線名等	事業概要
吉見中継ポンプ場	吉見中継耐水化工事

《大串裏田地区》

A E ほ場整備事業(経営体育成型<機構関連>)

農地中間管理機構を通じた担い手への集積・集約化を促進し、生産コストの縮減、高収益作物の作付け拡大により、収益性の向上を図ります。

【事業概要】

- 受益面積 28.7ha(田27.0ha、畑 1.7ha)
- 事業期間 令和4年度～令和8年度(予定)
- 総事業費 5億9,370万円
- 負担区分 国62.5%、県27.5%、町10%



大沼(大)地区

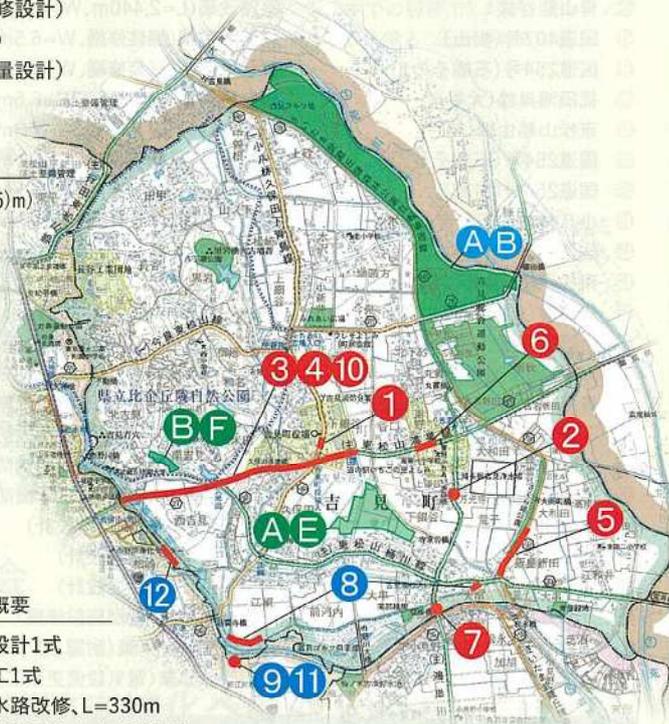
B F 農地防災事業(ため池整備)

ため池「大沼(大)」は耐震調査で安全率が基準値を満たしていません。さらに下流には農地の他に住宅や緊急輸送路があり「防災重点ため池」に指定されています。そのため改修し、災害防止と用水の安定供給を図ります。

【事業概要】

- 受益面積 65.77ha
- 事業期間 令和3年度～令和6年度(予定)
- 総事業費 1億9,610万円
- 負担区分 国55%、県34%、町11%
- 総事業量 堤体改修1式、底樋工(緊急放流工含む)1式

② 堤体(上流部)



① ため池全景



令和6年度の主な県事業（インフラ整備）

東松山市

令和6年度当初予算において予算を確保することができました、東松山市の主な県事業（インフラ整備）をご報告します。

県土整備部

令和6年度当初予算

路線名等	事業概要
① 駅前東通線	街路整備(L=373m、W=6.0(22.0)m)
② 深谷東松山線(上野本)	自転車歩行者道整備(L=220m、W=6.0(10.5)m)
③ 東松山越生線(箭弓町)	交通安全施設整備事業(L=100m、W=8.0(18.0)m)
④ 東松山鴻巣線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=3,400m、W=13.0(23.5)m)
⑤ 青山熊谷線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,440m、W=6.5(15.0)m)
⑥ 東松山鴻巣線	道路改築(L=3,400m、W=13.0(23.5)m)
⑦ 青山熊谷線	道路改築(L=2,440m、W=6.5(15.0)m)
⑧ 国道407号(松山)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.5m、L=310m)
⑨ 国道254号(石橋その1)	舗装道整備(舗装修繕、W=13.6m、L=300m)
⑩ 福田鴻巣線(大谷)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.6m、L=250m)
⑪ 東松山越生線(神戸)	舗装道整備(舗装修繕、W=7.3m、L=330m)
⑫ 国道254号(石橋その2)	舗装道整備(舗装修繕、W=3.7m、L=150m)
⑬ 国道254号(古渡)	舗装道整備(舗装修繕、W=3.5m、L=1,200m)
⑭ 小八林久保田下青鳥線(上野本)	舗装道整備(舗装修繕、W=1.9m、L=330m)
⑮ 国道407号(上野本)	道路環境整備(防草対策工、L=900m)
⑯ 東松平橋(国道407号)	橋りょう修繕(断面修復)
⑰ 唐子橋(東松山越生線)	橋りょう修繕(塗替え塗装)
⑱ 上野本陸橋(国道254号)	橋りょう修繕(補修設計)
⑲ 東平第2歩道橋(国道407号)	橋りょう修繕(塗替え塗装)
⑳ 青鳥小学校前歩道橋(国道254号)	橋りょう修繕(補修設計、桁修繕)
㉑ 下野本陸橋(国道254号)	橋りょう修繕(橋脚補強、落橋防止)
㉒ 上野本陸橋(国道254号)	橋りょう修繕(橋脚補強、落橋防止)
㉓ 高坂橋(国道407号)	橋りょう修繕(橋脚補強、落橋防止)
㉔ 都幾川	河川改修(築堤工、測量設計)
㉕ 九十九川	河川改修事業(測量設計)
㉖ 新江川	河川改修事業(測量設計)
㉗ 九十九川	河川改修(河川管理施設修繕)
㉘ 岡排水機場(九頭龍川)	河川施設震災対策(耐震工)
㉙ 岡排水機場(九頭龍川)	河川改修事業(電気設備更新工)



① 駅前東通線（東松山駅入口交差点から東松山駅を望む）



⑱ 東平第2歩道橋（国道407号）

都市整備部

令和6年度当初予算

路線名等	事業概要
A こども動物自然公園	社会資本整備総合交付金(公園)事業(園内放送設備改修)
B こども動物自然公園	公園等施設整備(なかよしコーナーリニューアル整備、誰もが使いやすい公園事業(トイレ整備、基本・詳細設計等))



委員会視察

少子・高齢福祉社会対策特別委員会

川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市)

子どもの居場所の確保に向けた取り組みについて

子どもの居場所の確保・充実に向け取り組んでいる「川崎市子ども夢パーク」は、「川崎市子どもの権利に関する条例」の理念を基に、子どもが自分の責任で自由に遊び、学び、つくり続けていく子どもの居場所、活動拠点となる施設として、平成15年に開設されました。平成18年4月からは、同パークに導入された指定管理者制度の下「公益財団法人 川崎市生涯学習財団」と「NPO法人 フリースペースたまりば」で結成された「川崎市子ども夢パーク共同運営事業体」が管理・運営を行っています。

禁止事項をできる限り作らず、「やりたい」と思うことにチャレンジし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切に、子どもたち自身が行事を発案し運営するなど、自由な発想と自主性を重んじた運営が行われています。また、乳幼児の部屋や、水や泥で遊べる屋外スペース、楽器も使える防音スタジオ、創作スペースなどを有し、あらゆる年齢の子どもが多様に育ち学ぶ場を提供しています。本県における子どもの居場所づくりの参考になりました。



雪の降る中ででの視察でしたが、たいへん大きな学びを得ることができました。



複合施設CORRIN(愛知県碧南市)

幼老複合施設としての先進的事例について

「複合施設CORRIN(コリン)」は、子どもや高齢者、障害のある子ども達が地域の中で交流ができる施設を目指し、一つの敷地内にこども園、高齢者デイサービス、児童発達支援事業所などが混在する複合施設です。

「CORRIN夏祭り」では、地元の中学生在がボランティアとして参加し、各ブースを職員と一緒に盛り上げたり、また各構成施設では、地元中学

生の福祉体験も受け入れています。さらに、構成施設の一つ「こども園ひまわり」では、隣接する養護老人ホームと、庭の手入れや梅シロップづくりなどの交流を行っています。

全ての県民が互いの人権を尊重し、高齢者や子どもなど誰もが意欲と能力に応じて生き生きと活躍できる社会を実現するため、本県における少子高齢対策の参考になりました。

幼老複合方福祉施設の理想的な取り組みを学ぶことができました。

委員会視察

警察危機管理防災委員会

群馬県警察本部

早期現場臨場への取り組みについて

「群馬県警察本部」は、事件・事故の現場までナビゲートする新たなナビゲーションシステムを全国警察で初めて開発・導入し、現場臨場における迅速な対応に努めています。車両管理システムのカーロケータシステム(パトカーや緊急車両の現在位置、活動状況等を地図上に表示し、把握するためのシステム)の導入・運用状況について視察しました。



いばらき消防指令センター

消防広域化への取り組みについて

いばらき消防指令センター(茨城県水戸市)は、県内21消防本部34市町の災害通報の受信・出動指令その他の消防指令業務の共同運用を実施し、消防広域化の取り組みを進めています。消防の広域化への先進的な取り組みについて調査を行いました。



東京消防庁 即応対処部隊

災害対応力の向上と人材育成について

「東京消防庁 即応対処部隊(東京都葛飾区)」は、近年頻発する自然災害に対して消防体制の更なる強化を図るため、令和2年に警防部に常設する直轄部隊として創設されました。ドローン等の資器材を活用し、災害の実態や要救助者の情報をいち早く把握する「即応情報収集隊」と、災害対応する様々な車両やエアポートによる災害現場の最前線で要救助者の救出を行う「即応救助隊」により編成され、広域的な自然災

害が発生した際には、先遣隊として出場し、災害の早期終息を図ります。

災害に特化した活動、先進的機器など、本県における災害対応力向上のための参考になりました。



写真のエアポートは、プロペラエンジンによって前進し、スクリュー船では行けない所でも活躍でき、頻発する水害において救助に活用されています。

天皇陛下誕生日 御下賜金伝達式に出席

令和5年度優良民間福祉事業施設・団体に対する御下賜金伝達式が2月21日、県庁知事室にて行われました。御下賜金とは、天皇陛下誕生日に際し、天皇陛下の社会福祉事業御奨励の思召により各都道府県及び政令指定都市の優良な民間社会福祉事業施設・団体に対して金巻封が下賜されるものです。

地元東松山市所在の『あかつき園』（社会福祉法人青い鳥福祉会 武石光紀 理事長）に対する御下賜金の下賜が決定されたの伝達式でしたが、大野元裕知事をはじめ県福祉部幹部、東松山市より田嶋健康福祉部長、また私も地元選出県議として同席させていただきました。

長きに渡り、障害者福祉の向上に尽力をいただいた同法人ならびに施設職員、ス

タッフの皆さまに敬意と感謝、また心からの祝意を表す次第です。



伝達式終了後、知事室にて懇談の様子。

東武鉄道(株)に要望書を提出

県議会東武東上線利便性向上促進議員連盟は2月26日、東武鉄道株式会社に対し要望活動を行いました。ホームドアの設置や終電時間の延長、エレベーターやエスカレーターの設置など、安全性と利便性の向上につながる10数項目の要望書を提出。各要望項目に対する前向きな回答もいただきました。

この議連を通じて、県民の皆さまから頂いた数多くの声を実現されてきました。今後も丁寧に継続的に、皆さまの声に耳を傾け、取り組んでまいります。



箭弓稲荷神社にて節分祭催行

2月3日、東松山市の松山神社、八雲神社、箭弓稲荷神社にて節分祭が行われ、豆まきが催行されました。

箭弓稲荷神社が国の重要文化財となった事も後押しして、多くの参拝者を迎えての節分祭となりました。



箭弓稲荷神社節分祭にて、皆さまが元気になるように、心を込めて参加させていただきました。

箭弓稲荷神社社殿が国の重要文化財に指定

「箭弓稲荷神社本殿・幣殿・拝殿」が1月19日、国指定の重要文化財に正式登録されました。箭弓稲荷神社の創建は、和銅5年(712年)と伝えられ、規模の大きさ、社殿の荘厳さから、古くから厚い信仰を集めています。



元宮社は本殿の真後ろに鎮座し、境内では最も古い建造物となります。江戸時代中期、享保年間(1716~1735)以前に造られたと推定され、社殿の周囲には「司馬温公の瓶割り」の彫刻が施されています。



本殿棧唐戸(さんからと／本殿の外陣と内陣を繋ぐ扉)には、花の浮彫刻がはめ込まれています。これらは極彩色されたもので、また正面の虹梁(こうりょう)にも彫刻が施されており、建物の外形とは異なる建築様式であることから、江戸中期享保3年(1718年)から寛政5年(1793年)の間に来たものとされています。



埼玉県議会議員

横川まさや



発行 横川まさや事務所 埼玉県東松山市箭弓町2-12-13 / TEL. 0493-77-5050 / FAX. 0493-77-1000
埼玉県議会自由民主党議員団 E-mail: masaya@yokokawa.me HP: 横川まさや.jp で検索

令和6年度所属委員会 県土都市整備委員会 / 地方創生・行財政改革特別委員会(副委員長) / 5か年計画等特別委員会

県議会2月定例会報告
令和7年度当初予算

一般会計 2兆2,308億9,000万円



一般質問に登壇(令和7年3月4日)

皆さま、こんにちは。横川雅也です。

県議会2月定例会は2月19日に開会し、前年度比5.2%増となる令和7年度一般会計当初予算(2兆2,308億9,000万円)をはじめ、令和6年度2月補正予算等を議決し、3月27日に閉会しました。

本県は今、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という2つの大きな課題に直面しています。令和7年度予算は、『未来を切り拓く、歴史的課題への挑戦』『日本一暮らしやすい埼玉』の着実な実現『DX・TXを前提とした不断の行財政改革の推進』を基本方針に、歴史的2つの課題に敢然と立ち向かい、持続可能な発展につなげていく内容となっています。

主な新規・拡充事業としては、自然災害への備え(通信機能の強化や治水対策の推進等、約394億5,146万円)、警察活動の強化(警察官を175人増員等、約4億900万円)、介護・医療体制の充実(人材確保等、約6億7,994万円)、保育士の確保・定着(約1億6,510万円)などが盛り込まれました。

なお、2月定例会では一般質問に登壇し、一問一答形式で大野知事はじめ県執行部に対し質問・提言を行いました。質問の内容や地域課題の進捗状況などについては、次号に掲載します。

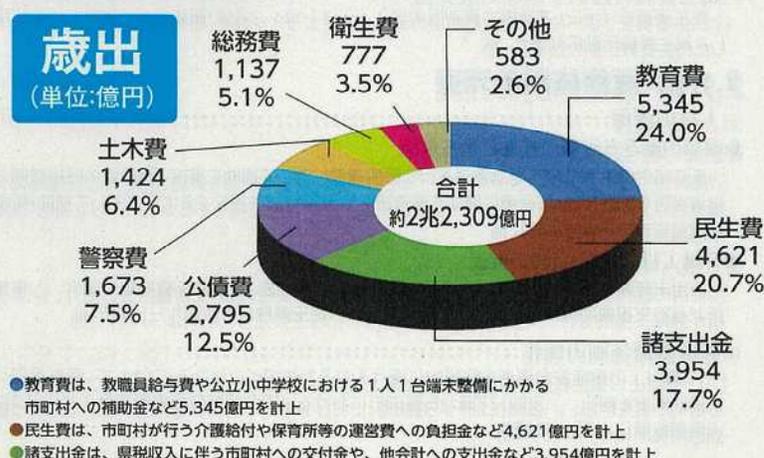
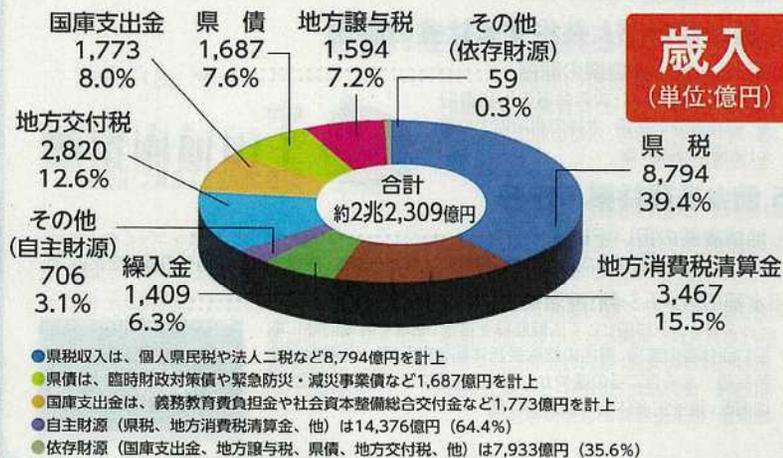
埼玉県議会議員 横川雅也

八潮道路陥没事故で緊急要望、補正予算を議決

1月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故を受け、自民党議員団は1月29日に大山忍八潮市長とともに、「人命救助を最優先で対応を進めること」「事故現場周辺の速やかな安全確保、復旧作業及び二次被害の発生防止に努めること」などを求めた緊急要望書を大野元裕知事に提出しました。

これを受け、2月定例会では事故の復旧工事のため、令和6年度流域下水道事業会計補正予算【第1号】及び【第3号】合わせて90億円(内、国庫補助金が45億円)を議決しました。

令和7年度一般会計当初予算



令和7年度の主な施策(抜粋)

～歴史的課題への挑戦～

1. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現

■「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出……………3億9,537万2千円

■**埼玉発! 令和7年夏、さいたま新都心に開設(予定)**

施設: コワーキングスペース、イベントスペース、ラウンジ、個別ブース(打合せスペース)、情報掲示スペースなど

■**共創プログラム**の実施(企業同士のマッチングによる協業の伴走支援、支援金の支給)、**新**アクセラレーションプログラム(アリー期)の実施(事業成長に向けた伴走支援、支援金の支給、デモデイ(成果報告会)の開催)、他



■サーキュラーエコノミー(CE)の推進……………7億2,377万8千円

■**新**リチウムイオン電池の広域回収・資源化モデルの構築、**新**県民向けサーキュラーエコノミーの啓発、**新**サーキュラーエコノミー型製品等の価値発信支援、**新**広域連携による衣料品のサーキュラーエコノミーの推進、

■**新**大企業ニーズ調査によるサーキュラーエコノミー推進センター埼玉のマッチング強化、他



■埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進……………15億8,470万円

■**プロジェクトに取り組む市町村 合計56団体!**

■**新**市町村への専門家派遣等による地域まちづくり計画の策定支援、**新**エネルギーレジリエンス強化促進支援事業、**新**県有施設への太陽光発電設備等の導入促進、他



■人手不足への対応……………7億6,916万2千円

■**新**専門家派遣の実施、**新**省力化投資に対する補助(導入:上限額200万円、補助率1/2/更新:上限額750万円、補助率1/2)、**新**女性活躍のための環境整備、**新**集合住宅宅配ボックス設置補助、他



2. 「子どもまんなか社会」の実現

■**子どもの声を聴く「埼玉県子ども会議」……………445万5千円**

■**新**小学生～高校生が県政に対し意見を表明する「埼玉県子ども会議」を設置・運営、**新**子どもたちからの意見を施策づくりに生かすとともに、反映状況等を県ホームページで公表

■朝のこどもの居場所づくり……………557万4千円

■**新**「朝の小1の壁」を解消するため、「朝のこどもの居場所づくり」に取り組む市町村への支援



■保育士の確保・定着……………1億6,509万6千円

■**新**新卒保育士に対する就職準備金(新卒保育士就職準備金に30万円(県内保育所等で3年勤務することにより返還免除)の新たな貸付枠を創設するとともに、県外からの転居を伴う就職者に対しては10万円の加算枠を創設)、**新**保育士の復帰・復職のサポート(未就学児を持つ保育士が育休等から復帰する又は新たに就職する場合に、当該保育士が支払う保育料の半額(上限27,000円)の貸付期間を無償化の対象となる3歳児まで延長)、他



■メタバース空間を活用した不登校児童生徒支援……………4,272万6千円

■**新**新たな居場所・学びの場を設置(一人ひとりの状況に合わせた学びの提供(講義形式・個別学習支援)、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる専門的な相談、利用者同士の日常の交流やオンライン社会科見学等の体験活動)

■特別支援学校の整備……………14億4,969万9千円

■**新**県東部地域特別支援学校(仮称)の設置(令和12年度開校予定)、**新**県西南部地域特別支援学校(仮称)の設置(令和11年度開校予定)、**新**既存特別支援学校の校舎等改築(県立和光南特別支援学校の全面改築(令和12年度校舎供用開始予定))

■県営公園の安全安心向上……………1億9,850万円

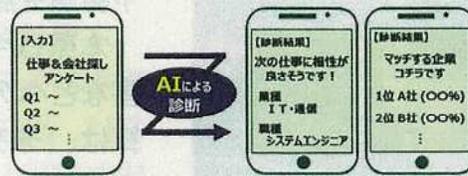
■**新**防犯カメラの充実(5公園全30か所詳細設計、6公園全40か所で設置工事を実施)



3. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

■DXによる県民サービスの更なる向上……………1,500万円

■**新**AIしごと診断・マッチングシステムによる若者の就業支援



■県内中小企業のDX推進……………8,522万9千円

■**新**ノーコードツール活用によるDX促進(事業者におけるノーコードツール活用を促進するための実践型ワークショップを実施)

■DX・TXによる行政の更なる生産性向上……………1億2,727万6千円

■**新**TX2.0タスク・トランスフォーメーションの強化(TX1.0で導入した全庁共通ツールだけではカバーできない特定のタスクを効率化する新たなツールをモデル的に導入)、**新**県立高校でのデジタル採点の導入、他

4. 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

■埼玉版FEMAによる災害対応力の強化……………7,964万3千円

■**新**通信途絶状況下での対応(令和6年能登半島地震での教訓を踏まえた図上訓練の実施)、**新**支援物資の物流オペレーション、**新**LINEを活用した多言語防災情報の提供、**新**災害時のリハビリテーション機能の強化、**新**新興感染症の訓練想定を拡充、他

■孤立集落となる可能性がある地域への対応……………3億6,400万円

■**新**迂回路の無い県道の法面対策強化(アクセスルート強靱化推進費)

■自然災害への備え……………394億5,146万4千円

■**新**衛星通信機器の導入(27基導入)、**新**流域治水対策の推進(中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト、既存施設の有効活用法の検討等)、**新**緊急性の高い防災・減災対策の強化、**新**総合指揮支援システムの機能強化、**新**通信・映像資機材の整備、他

～「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現～

1. 県民の暮らしの安心確保

■警察活動の強化……………4億899万6千円

■**新**警察官の増員(全国最多 175人増員)、**新**ダークウェブ上における情報収集力の強化、他



■消費者被害対策の推進……………3,174万5千円

■**新**消費生活センターへのAI電話の導入など消費者相談のDX化、**新**市町村相談体制支援員の設置、県内消費生活相談体制の維持、他

■民生委員の担い手確保対策支援……………3,741万円

■**新**民生委員をサポートする協力員制度の導入、**新**オンライン会議・研修など、タブレットを活用した民生委員活動の効率化、他

2. 介護・医療体制の充実

■人材の確保……………7億8,730万1千円

◆医師の働き方改革の推進と偏在是正

■**新**長時間労働医療機関へ医師派遣を行う医療機関に対して補助を実施、**新**地域の医療機関へ指導医等を配置し、地域医療に関する調査研究や人材育成支援をする大学に対して補助(寄附講座運営支援事業を拡充)、他

◆介護人材の確保・定着の促進

■**新**採用未経験事業者に対するセミナーや個別相談会の実施、登録支援機関等の紹介、**新**事業所が登録支援機関等に支払う初期費用の補助、**新**埼玉県独自の新規ルート開拓、他

■救急医療体制の強化……………1億7,567万8千円

■**新**75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設、**新**夜間(22時から翌8時)における小児の初期救急患者の受入れを行う拠点医療機関(2か所)への補助

3. 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

■観光プロモーション・インバウンド誘致の推進……………2億781万9千円

■**新**酒やアウトドアスポーツなど、本県の強みとなるコンテンツの発信による観光周遊促進、**新**特定層にターゲットを絞ったプロモーション、他

■未来の県庁・新しい働き方の実現……………1億2,134万1千円

○「未来の県庁の先行モデル」となる北部地域振興交流拠点の基本計画の策定、**新**DX等の社会変革を踏まえた未来の県庁舎の再整備に向けた基本構想・基本計画の策定(令和7～8年度)、他

4. 豊かな自然と共生する社会の実現

■第75回全国植樹祭の開催……………10億1,615万3千円

■**新**当日の式典運営・式典会場の現状復旧等、森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」の発信、他



5. 儲かる農林業の推進

■地域農業の担い手確保……………3,572万1千円

■**新**新たな担い手確保に向け、大規模農業法人などを誘致、規模拡大や県内への参入を支援、他

■水稻のカメムシ類・高温被害への対策……………3,086万4千円

■**新**イネカメムシ対策として広域防除を推進(地域で広域防除に取り組む団体等の支援、県内の防除委託体制を充足等)、**新**高温耐性新品種 えみほころの速やかな導入(栽培マニュアルの策定・現地実証、種子生産体制の整備等)、他





埼玉県議会議員

わたなべ

渡辺 そういちろう

県政報告 Vol.5

そらいちろう

私たちの生活に関わる県の予算

約2兆1,197億4千万円を議決・成立

埼玉県議会では4年連続2兆円超えとなる2兆1,197億4,400万円の令和6年度当初予算を可決しました。新たな予算のもと、人口減少・超少子高齢社会、そして激甚化・頻発化する自然災害などに対応していきます。私たちの生活に関わる県の予算のうち、施策をピックアップしてご報告いたします。



DXの推進

▶ 県庁の業務をデジタルツールで効率化

- 県庁のペーパーレス化や生成AIの業務活用を進めるとともに中小企業の業務デジタル化を補助金などで支援します。



市町村と連携したまちづくり支援

▶ 埼玉版スーパーシティプロジェクトの推進

- 少子高齢化社会に対応するため、市町村と連携して持続可能なまちづくりを進めます。具体的には福祉・医療・交流などの施設整備、IT等の先進技術の活用、災害時への備え等を市町村とともに進めます。

歳入・歳出内訳



スーパーシティプロジェクトについては県内46の市町村が参加。宮代町・白岡市も参加し、東武動物公園駅西口エリアと新白岡エリアの持続可能なまちづくりを進めていきます。

子育て・教育

▶ こどもの居場所の確保と児童虐待の防止

- 子どもや若者がネット上で気軽に参加し、交流や相談ができる場「バーチャルユースセンター(仮)」を設置します。
- 既存施設を活用して放課後児童クラブ整備を行う市町村への補助。



災害対応力の底上げ

▶ 激甚化する災害に備え、流域治水を徹底強化

- 中川・綾瀬川流域の治水を強化し、浸水リスクを軽減。
- ドローンによる災害現場の上空観測を実施します。



教育環境の充実

▶ 県立学校の普通教室のエアコンを公費負担

- 保護者が負担して設置していた県立学校のエアコンの維持管理費を公費補助。老朽化したものは公費で順次更新していきます。



新たな感染症への備え

▶ コロナ渦を踏まえ、県の感染症対応力を強化

- 協定締結医療機関が行う施設・設備整備への補助。
- 感染症等の検査能力を向上するため、県衛生研究所の体制を強化します。



ポイント!

和戸踏切の立体交差事業 東武鉄道との具体的な協議を開始!

県道さいたま幸手線(おなり街道)の和戸踏切周辺は朝夕の通勤時間を中心に大変混雑しており、この渋滞を緩和するため和戸踏切の立体交差事業を進めています。今年度も事業予算を確保し、いよいよ詳細設計に向けた東武鉄道との具体的な協議が始まります。また、工事については現在の踏切の横に仮踏切をつくり、作業を進める予定です。この事業は34年前に都市計画決定され始まった事業ですが、大規模事業のため多くの時間がかかっています。私は昨年、県議になりこの問題に着手しましたが、驚くことに用地買収率も全体の約2パーセント程しか進んでいませんでした。地権者の協力を得ながら用地買収も進めていかなければなりません。少しでも事業がスピードアップするよう、施工方法の工夫などを提案しながら取り組んでいきます。



和戸交差点の改良工事も同時に進めています。交差点踏切側の右折帯延長と信号設置を進めます。

県が関わる宮代町のインフラ事業

令和6年度埼玉県予算における、宮代町において予算を確保することができた主な事業（インフラ関係事業）をご報告します。

宮代台・学園台の公園整備への補助

宮代台団地、学園台団地にて住民主体の公園づくりが行われています。この度、県からのサポートが決定し、事業費の半分の県が補助します。今後もまちづくりへの補助を拡大できるように働きかけていきます



公園をグレードアップ!

県道舗装工事

備前堀川改修
橋の架け替え工事

和戸踏切立体交差事業

県道舗装工事

宮代橋の架け替え工事

隼人堀川の河川改修

姫宮落川の河川改修

東武動物公園駅東口の開発がスタート!

東口整備の予算を確保し、今年から具体的な事業が始まります。まずは古利根川にかかる古川橋に歩道（側道橋）をかける工事を行います。完成すれば歩行者や自転車が安全に通れるようになります。



新橋通り線の用地買収

令和6年度も宮代町分の用地買収を行います。杉戸町分は用地買収のための物件調査を行います。

宮東・中島の農地改良事業

宮東地区・中島地区の圃場整備事業に予算がつき、事業がスタートします。農地をまとめて農業の生産性を上げる取り組みです。土地改良組合も無事設立されました。



大野知事が白岡市・宮代町を訪問。大成ラミック株とROCCOを視察。

活動日記



桜まつり(白岡市)



桜市2024(宮代町)



町長・議長の県庁訪問に同席



県政報告会を開催



ごみ拾いイベントに参加(宮代町)



渡辺そういちろう プロフィール

1984年生まれ。明治大学大学院公共政策研究科卒。都内IT企業勤務を経て、衆議院議員の秘書を務める。2015年、2019年に白岡市議会議員に出馬し、連続トップ当選。白岡市議会では総務委員長や議会運営委員長などを歴任。2023年白岡市・宮代町から県議会議員選挙に出馬し、初当選。埼玉県議会では自民党県議団に入団。企画財政委員会、危機管理・大規模災害対策特別委員会に所属。家族は妻と一歳の娘。

発行元: 埼玉県議会自由民主党県議団 渡辺そういちろう政務活動事務所
連絡先: 〒349-0212 白岡市新白岡4丁目8-4シオン102 TEL 0480-53-3623
MAIL soichirowt21@gmail.com WEB <https://www.so-wat.net/>



X(Twitter)



Webサイト



Instagram



埼玉県議会議員

わたなべ

渡辺 せいいちろう

県政報告 Vol.6

そういちろう

不適切なスクラップヤードを規制する条例を提案!そして可決!!



副事務局長として委員会審議に臨む

私たちの会派自民党県議団で「**特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例**」を提案し、可決されました。金属やプラスチックなどの再生資源物を屋外で保管する「ヤード」を許可制にして、保管基準を求めています。県内でも不適切な保管を行うスクラップヤードにより、**生活環境が悪化する例が増加しているため**条例を策定する運びとなりました。これまで再生資源物の保管は法規制の対象になっていないため、**不適切なヤードがあっても指導や立ち入りができない状態**が続いていました。今回、自分は副事務局長(一期生の新人では初)として条例を提案しました。私たちの会派では事務局長と副事務局長が条例をまとめる中心役となります。そういった意味では自分としては県議になりはじめて本格的に関わった条例でしたが、様々な調査や研究も行い大変良い経験になりました。本条例がしっかりと運用され、**県民の生活環境を守っていけるよう**に取り組んでいきます。



写真はイメージです。特定の施設を示すものではありません。

置には許可が必要となり、設置の申請の際には周辺住民への説明や資源物の保管基準の順守などが求められます。無許可や違反の場合には1年以内の懲役または100万円以下の罰金、立ち入り検査を拒否した場合には30万円以下の罰金が科されます。

条例制定の背景は?もう少し詳しく

近年、再生資源物を屋外で保管する施設(スクラップヤードと呼ばれます)からの**騒音や臭気、また火災や崩壊などが問題**になっています。多くはきちんと資源物を保管されていますが、中には不適切な保管が行われているケースも存在し、周辺住民と深刻なトラブルになる事も増えています。**この条例が制定された事により、ヤードの設置**



県内ヤード施設を視察



条例づくりのメンバーと

大きく前進 厚労省に直談判!



国の過度な規制により、**地域に必要な医療整備ができない現状**を指摘

武見厚労大臣に規制緩和を直談判



国による病床規制の緩和について厚労省に要望活動を行いました。利根医療圏においては地域の实情に合わない過度の病床規制が敷かれているため、**地域の医療ニーズにあった医療整備ができない状態**でした。その解消をもとめて武見厚労大臣と面会。また**厚労省に対して国の制度の不備を指摘**しました。この要望活動の結果、厚労省から具体的に**白岡市・宮代町の医療圏に新たな病床を追加する事を認める発言**を頂き、この地域の医療改善に大きな一歩となりました。

金属部品の盗難を防げ!

県内で金属部品の盗難が相次いでおり、県警に「**緊急要望書**」を提出しました。具体的には**犯人の検挙対策の強化、金属の買取業者に対する盗難品の不正流通防止策の実施を要請**。県内には金属類の買い取りについて業者を規制する法令が無いいため、盗難品の確認や身分確認があいまいになっています。**買い取り時に身分確認を求めるなど対策**を求めています。県警からも**対応を強化していくと返答**がありました。



白岡市内や宮代町内でもグレーチング蓋(側溝をふさぐ金属製のふた)の盗難被害が出ています。

県の補助で進む白岡・宮代のまちづくり

市や町のまちづくりを後押しするため、埼玉県からの補助金の確保を進めています。ここでは県2分の1、市・町2分の1の予算で進める施策を、一部でご紹介します。



新白岡駅の交番付近の空き地に照明灯やベンチを設置。またキッチンカーなどの出入口確保や敷地の人工芝工事等を行い、誰もが利用しやすい駅前広場として整備します。県は2分の1の費用を補助。

進修館の駐車場が手狭となっていることから、駐車場を拡張します。また駐車場空間を活用して新たな社会実験やまちの賑わい創出を行います。県は2分の1の費用を補助。

地域を守る。防災・安全対策



水害に備えた河川改修(県の事業)
姫宮落川や単人堀川では水害に備えて護岸整備、橋の架け替え作業を進行中です。



単人堀川では河川管理用道路を整備(河川巡視や洪水時の緊急対策を行う道。普段は遊歩道としても活用できる)



小学校での防災訓練
大地震に備えた防災訓練が行われました。生徒と一緒に頭を守る行動や避難経路の確認などを行いました。



危険な交差点の調査・改善
交通事故が多発する交差点の安全対策を進めています。警察や区長と連携しながら改善していきます。

活動日記



白岡まつり! シラオ仮面と一緒にSポーズ。



宮代町民まつり!
神輿を担がせて頂きました!



三歳になる娘と
地域の花火大会へ



事務所内で陳情対応



能登半島でボランティア活動に従事



大山のひまわり畑へ



渡辺そういちろう プロフィール

1984年生まれ。明治大学大学院公共政策研究科卒。都内IT企業勤務を経て、衆議院議員の秘書を務める。2015年、2019年に白岡市議会議員に出馬し当選。白岡市議会では総務委員長や議会運営委員長などを歴任。2023年から白岡市・宮代町選出の埼玉県議会議員として活動。埼玉県議会では自民党県議団に入党。企画財政委員会、危機管理・大規模災害対策特別委員会に所属。家族は妻と二歳の娘。

発行日: 2024年10月7日

発行元: 埼玉県議会自由民主党県議団 渡辺そういちろう政務活動事務所

連絡先: 〒349-0212 白岡市新白岡4丁目8-4シオン102 TEL 0480-53-3623

MAIL soichirout21@gmail.com WEB <https://www.so-wat.net/>



X



Webサイト



Instagram

埼玉県議会議員

わたなべ

渡辺 県政報告 Vol.7

そらいちろう



保育・教育の質向上について議会で議論!

渡辺 保育の質・安全性を高めていく必要がある。近年は**不適切保育や保育所での事故**も多発している。児童福祉法施行令では年に一度の保育所への実施検査が必要とされているが、人員不足により書類確認で終わるケースも多い。着実に検査を行うため体制強化とともに専門機関による第三者評価も充実させていくべきだ。また保育士の処遇改善や保育士の加配を行う保育所へのサポートが必要と考えるが。

県の答弁 保育所の検査については**実地検査を担当する職員を増員**するとともに事務のデジタル化などで監査業務の効率化を図る。保育の質向上には第三者評価の充実は有効と考えるので、今後は**保育所が第三者評価を受診した場合のインセンティブ**などを検討していく。保育士の処遇改善については国に強く要望する。また保育士加配を行う保育所へのサポート充実については必要性の調査を進める。

令和6年12月県議会で一般質問に登壇しました。多岐に渡る課題について政策提言を行い、改善に向けた答弁を引き出しました。



渡辺 グローバル人材を育てるSTEAM教育の重要性が高まっている。STEAM教育は授業の専門性を高めることが必要。小学校において教科担任制が進んでいるが、専門教員の配置はまだまだ足りない。**県が計画性を持って専門性を持った教員の配置を進め**、STEAM教育等の質の高い教育を推進していくべき。

県の答弁 教科ごとに専門教員が授業を担当する教科担任制はSTEAM教育につながり、意義が高い。教員の授業負担の軽減効果も期待される。県では専門性の高い生徒指導を目指し、教科担任制を推進する。教科担任制の普及には国による定員増も必要であるため、定数改善の要望も行っていく。



発言時間

大野知事

※STEAM教育…Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(芸術)、Mathematics(数学)を統合的に学習する。AI時代に創造性や課題解決力を育む教育。

学校制服の費用負担の軽減を

渡辺 物価上昇の影響もあり学校用品の費用負担が重くなっている。特に制服は業者の新規参入が図られず価格が高値で維持されるケースが散見される。**「指定物品の決定」や「業者選定のプロセス」**について透明性を高める必要がある。コンペ・入札・見積り合わせの促進、選定委員会への保護者枠の設定、その他費用負担軽減の取り組みが必要ではないか。

県の答弁 保護者の負担軽減策の周知を行うとともに**業者選定委員会に保護者を含める**など県立学校の校長を指導していく。また市町村教育委員会にも参考事例を周知し、公立学校の制服に係る費用負担軽減を促していく。



日吉教育長



地域医療の強化に取り組んでいます!

小児医療の環境改善やがん対策についても力を入れて取り組んでいます。昨年の県議会で**がんの緩和ケア**の充実の必要性を訴えましたが、その後、県のがん診療拠点病院において、各地域で緩和ケアを行う事ができる医師や看護職、ソーシャルワーカーの育成を図っていく事になりました。一歩ずつ着実に地域医療を向上させていきます。また、白岡市では**白岡中央総合病院が移転**予定ですが、橋本院長とも意見交換しながらサポートを図っていきます。



橋本院長と

県道整備の早期完成を促します



篠津地区では道路整備が進んでいます



県では県道春日部菖蒲線の整備を進めています。この道路は春日部市から白岡中学校や篠津地区を通り久喜市菖蒲町まで至る県道ですが、樋ノ口の正楽寺付近において道路がクランク形状になっており道路形状がスムーズではありません。この道路を一直線に繋げる事により白岡菖蒲インターチェンジへのアクセス改善につながります。現在、用地買収率は99パーセント、工事進捗率は36パーセント。今後は迂回路の設置や橋の架け替え工事を進めます。事業の早期完成を促していきます。

高温障害に対する農業支援が決定

水稲高温被害
17市町で特別災害指定
県、カメムシ対象外

県は、米の産地を有する本市等の農業分野について、高温障害対策として、特別災害指定の措置を講じた。対象となるのは、水稲の高温被害に限定され、カメムシ被害は対象外となる。また、特別災害指定は、米の産地を有する本市等の農業分野について、高温障害対策として、特別災害指定の措置を講じた。対象となるのは、水稲の高温被害に限定され、カメムシ被害は対象外となる。また、特別災害指定は、米の産地を有する本市等の農業分野について、高温障害対策として、特別災害指定の措置を講じた。対象となるのは、水稲の高温被害に限定され、カメムシ被害は対象外となる。

県議会で農業の高温被害やカメムシ被害について取り上げ、災害指定としてサポートすべきだと訴えました。その結果、高温被害については県の支援が決定し、読売新聞や埼玉新聞に取り上げられました。水稲高温被害について白岡市や宮代町も災害指定となり、被害に応じて補助が行われます。



米や梨など農業者の皆様から現状を聞き取り

県議会トピックス

インボイス制度の廃止を求める 意見書を提出



自民党県議団が「インボイス制度の廃止を求める意見書」をとりまとめ、議会に提案しました。賛成多数で可決。インボイスは中小事業者への事務負担が大きくコスト負担も増加し、経営圧迫の要因になっています。昨年、埼玉県議会から国に対して、中小事業者への負担軽減や制度改善を検討してほしいという要望を出していましたが、**1年以上経っても改善に向けた姿勢が見られません**でした。そうした国の対応を踏まえて、県議団として国・自民党本部に対して制度の廃止を求めています。



要望を出していましたが、**1年以上経っても改善に向けた姿勢が見られません**でした。そうした国の対応を踏まえて、県議団として国・自民党本部に対して制度の廃止を求めています。

埼玉県への警察官増員が決定!



プロジェクトチームにて

昨年、埼玉県議会から国に対して「警察官の増員を求める意見書」を提出していました。この度、要望の成果があり、政府の令和7年度予算案に「埼玉県警察官175人の増員」が盛り込まれました。埼玉県は、警察官1人当たりの負担人口が16年連続全国ワースト1位、また刑法犯認知件数が9年連続で全国ワースト1位、警察官の過度な業務負担が大きな課題です。埼玉県への警察官増員は平成30年からずっと行われませんでしたので、今回の増員は**治安強化に向けた重要な一歩**です。昨今は闇バイト対策などが大きな課題となっています。地域の安全対策の強化を図っていきます。

警察官の定数は法令で定められていて県独自で増やすのは難しいです。今回は他県と比べても大幅増となりました。要望の成果がありました!



活動日記



予算特別委員会で活動



新年に大野知事と



マチナカマルシェにて



消防団の表彰式で挨拶



自民党県議団の中で政策を提言



新年は地元神社へ

渡辺そういちろう プロフィール

1984年生まれ。明治大学大学院公共政策研究科卒。都内IT企業勤務を経て、衆議院議員の秘書を務める。2015年、2019年に白岡市議会議員に出馬し当選。白岡市議会では総務委員長や議会運営委員長などを歴任。2023年から白岡市・宮代町選出の埼玉県議会議員として活動を開始。埼玉県議会では自民党県議団に入団。企画財政委員会、危機管理・大規模災害対策特別委員会、予算特別委員会に所属。家族は妻と二歳の娘。

発行日: 2025年1月20日

発行元: 埼玉県議会自由民主党県議団 渡辺そういちろう政務活動事務所

連絡先: 〒349-0212 埼玉県新白岡4丁目8-4シオン102 TEL 0480-53-3623

MAIL soichirowt21@gmail.com WEB <https://www.so-wat.net/>



X



Webサイト



Instagram

埼玉県議会議員

わたなべ

渡辺 県政報告 Vol.8

そういちろう

政策実現

夜間小児救急の受け皿拡大が実現!

「夜、子どもが病気やけがをしたとき、受け入れてくれる病院がなく不安です」という声を頂きました。白岡市・宮代町は子どもの夜間や休日の受け入れ先が著しく少なく、体制が整っていません。長い間ずっと課題のままだった小児救急医療について**一昨年の県議会で問題提起**しました。その後、委員会等でも取り上げ続けた結果、令和7年度の**埼玉県予算の新規事業として、小児初期救急の拠点医療機関を整備する事業が決まりました**。これまでは二次輪番病院だけで受け入れ手一杯の状況でしたが、そこに新たに拠点医療機関が加わり、二重の体制で子どもの救急をケアする体制になります。政策が一步前進した事はとても嬉しく思っています。新たな県の施策がしっかり効果をだしていくよう取り組みを注視していきます。



新たに夜間救急の拠点病院を定めて、二重の体制で小児救急患者に対応する。



一昨年の10月議会で問題提起



選挙の時にも政策として訴えました

この政策がしっかり効果を出していくよう引き続き取り組みます!

側道の歩道を整備

東北自動車道の側道の歩道整備がやっと始まりました。蓮田白岡久喜線という県道ですが、市役所やこもればの森へのアクセス道路にもなる道です。市議会議員だった頃から歩道整備の必要性を訴えてきたところです。まずは寺塚のセブンイレブンから久喜方向に向かって歩道を作る予定です。その後、市役所の方まで歩道を設置していきますが、いまだに地権者から了承をもらえず、買収ができていない土地もあります。一歩ずつ目に見える進捗を図っていきます。



ようやく一歩前進!

新白岡駅前広場の整備

新白岡の交番裏の空き地に憩いと賑わいを生む広場が整備されました。県では新白岡地区の持続的な発展を目指して市と連携して様々な事業を進めており、こちらの広場整備についても事業費の半分の県で補助しています。新白岡地区は綺麗で落ち着いた街並みが魅力のエリアですが、駅周辺のさらなる活性化も求められています。この広場が活用され、新たな賑わいが生まれ新白岡の活性化に繋がればいいなと思います。



オープニングセレモニーにて



今後もイベント等が行われる予定

八潮市の道路陥没事故

1月28日、八潮市の交差点において大規模な道路陥没事故が発生しました。被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。また下水道の使用自粛にご協力頂きありがとうございました。ご協力のおかげで、下水道管の下流からドローンを入れて運転手席を発見する事ができました。下水道管の中は硫化水素の濃度も濃く、潜水での救助が不可能と判断されたため、キャビン部分を上から掘削する土木的な搜索方法となりました。工事の完了までには約3か月を要する見込みで完全な復旧にはさらに多くの時間を要するとの事です。八潮市・県・国が全力で取り組んでいます。議会としてはまずは搜索復旧を支援するとともに、事故原因や事故対応について明らかにし、危機管理の改善を図っていきます。



◆事故の経緯

月日	主体	事業・対応	連携・調査
1月28日	消防	0900八潮市県道で道路陥没・トラックが巻き込まれる	届に概要が伝達される
	八潮市	人命救助活動開始も、二次災害に巻き込まれ、活動停止	県に連絡
1月29日	東京ガス	ガス漏れにより住民に避難要請	
	県	0900第一回危機対策本部会議(国文書、警察参加)、人命優先を指示	国に災害救助法適用を打診
		0900第二回危機対策本部会議	自衛隊に対応の可否を打診
		第三回危機対策本部会議	
		第四回危機対策本部会議	
		消防の指示によりがれきり撤去開始	
自衛隊	第32普通科連隊リゾン派遣		
国交省	地盤改良開始		
1月30日	県	消防の指示により第一スロープ造成(2/1完成)	
	自衛隊	第1軽団司令部施設掘りエゾン派遣	
2月5日	県・消防	超小型ドローン調査でキャビン発見	
	自衛隊	総合機務部リゾン派遣	
2月6日	県	作業に伴う住民避難要請	住民は7日よりホテル等へ
	県	第二スロープ造成(2/7完成)	
2月7日	県	消防の指示によりボックスカルバート撤去等	
2月9日	消防	作業現場レベルに立ち入り、陥没孔付近探査、救出方法を検討	
2月11日	消防	消防による救出方法検討を待たずしてキャビンに向けた掘削を決定	
	県	災害救助法1月29日に遡って適用決定	内閣府防災も同意



浮かびあがってきた問題点

- 問題点** 事故事案が消防内で完結される体制が継続され、災害対策本部立ち上げが遅れた
 - ↳ 県と市の対応では限界があり、早急に災害対策に移行し、もっと早期から国や自衛隊との連携による対策が必要だったのではないかと。
- 問題点** 過酷な状況下での救命・救出手段の欠如
 - ↳ 高度な危機や災害に対応できる実動部隊との連携が必要。
- 問題点** 5年に一度の検査では空洞を見つけられなかった
 - ↳ 今後は、より具体的かつ厳しい点検基準、管理方法が必要。
- 問題点** 事故場所は下水の最下流で口径も大きく水量も深く作業が困難
 - ↳ 今後は大規模な流域下水道のあり方も検討が必要。

八潮市の事故は県の初動対応が適切であったのか、老朽化した管の更新はどうするのかなど様々な観点から疑義があると思います。今なお搜索活動が続いていますので、その現場作業を妨げない事を最優先として、今後の委員会等で実態を明らかにしていきます。皆様に安心して頂けるように今後の危機管理やインフラ管理の改善を図っていきたく考えています。

※この内容は2025年3月10日時点のものです。

活動日記



渡辺そういちろう プロフィール

1984年生まれ。明治大学大学院公共政策研究科卒。都内IT企業勤務を経て、衆議院議員の秘書を務める。2015年、2019年に白岡市議会議員に出馬し当選。白岡市議会では総務委員長や議会運営委員長などを歴任。2023年から白岡市・宮代町選出の埼玉県議会議員として活動を開始。埼玉県議会では自民党県議団に入団。企画財政委員会、危機管理・大規模災害対策特別委員会、予算特別委員会に所属。家族は妻と二歳の娘。

発行日：2025年3月28日
 発行元：埼玉県議会自由民主党県議団 渡辺そういちろう政務活動事務所
 連絡先：〒349-0212 埼玉県新白岡4丁目8-4シオン102 TEL 0480-53-3623
 MAIL soichirowt21@gmail.com WEB https://www.so-wat.net/

